

詩で味わう料理本『飲食のくにではピビムパプが民主主義だ—おいしい詩を添えて』（クオン刊）の出版を記念し、韓国が誇る食と文化の都、全羅道出身の詩人カク・ヒョンファンさんと韓国の食に詳しい作家の中沢けいさんを迎えてトークショーを開催します。

おいしい韓国

日時

12月5日 土

時間

16:00~17:30 (開場 15:30)

『飲食のくにではピビムパプが民主主義だ—おいしい詩を添えて』には、カク・ヒョファンさんをはじめとする韓国の有名詩人40人が料理をテーマに創作した詩のほか料理の写真と解説、レシピが満載！第一部では、カク・ヒョファンさんの講演(テーマ:おいしい韓国—食べ物から生まれる文学) 第二部では東北大学キム・ヒョンチョル先生の司会でカク・ヒョファンさんと中沢けいさんが韓国の食についてたっぷりお話していただきます。詩の朗読も予定しております。

会場

東北大学 川内北キャンパス
「マルチメディア教育研究棟」6階 大ホール

住所: 980-8576 仙台市青葉区川内 41

出演者

詩人
カク ヒョファン
郭 孝桓
곽효환

1967年全羅北道 全州生まれ。建国大学国語国文学科、高麗大学校大学院国語国文学科博士課程を修了。1996年世界日報で「壁画の中の猫3」、2002年『詩評』誌へ「水落山」ほか5編をスタートに作品活動を始める。詩集として『インディオ女人』(2006)、『地図にない家』(2010)、『悲しみの骨組み』(2014)、著書としては『韓国の近代詩の北方意識』(2008)などがある。現在大山文化財団で勤めながらソウル国際文学フォーラム、東アジア文学フォーラムなどの企画をしている。

小説家、法政大学文学部教授
中沢けい
나자자와 케이

1959(昭和34)年生れ。千葉県館山市に育ち、18歳の高校在学中に書いた「海を感じる時」で群像新人文賞を受賞、単行本がベストセラーになる。1985年、『水平線にいて』で野間文芸新人賞を受賞。著書に『野ぶどうを摘む』『女ともだち』『豆畑の昼』『さくらささくれ』『楽隊のうさぎ』『うさぎとトランペット』『書評 時評 本の話 1978-2008』『動物園の王子』『麹町二婆二娘孫一人』などがある。

キム ヒョンチョル
金 鉉哲
김현철

1969年慶尚南道 固城生まれ。高麗大学国語国文学科、高麗大学校大学院国語国文学科博士号取得。2001年1月東亜日報の新春文芸<夢見る植物>(戯曲)で作品活動を開始。著書としては『韓国芸能の原理と方法』(2006)などがある。2003年4月から東北大学で日韓公演芸術論を中心に研究と教育を行っている。

お問い合わせ

金 鉉哲 (キム・ヒョンチョル) tel: 022-795-7630 E-mail: kim@m.tohoku.ac.jp

参加費

無 料

共催 東北大学 高度教養教育・学生支援機構 / クオン出版社
後援 韓国国際交流財団 / 駐仙台大韓民国総領事館 / SIJAK 日韓交流サークル